

優れた、より良い福祉コミュニティーをめざして

まほろば

ふれあいネットワーク

社協広報

【特集】遊びの文化を創造するーふれあい児童館

第16号



陶芸教室でお皿や花瓶作りに挑戦

デイサービスセンターふれあいでは、陶芸ボランティアさんにお手伝いいただき、作品作りを楽しみました。

写真／ふれあいの館・ひだまりの部屋から

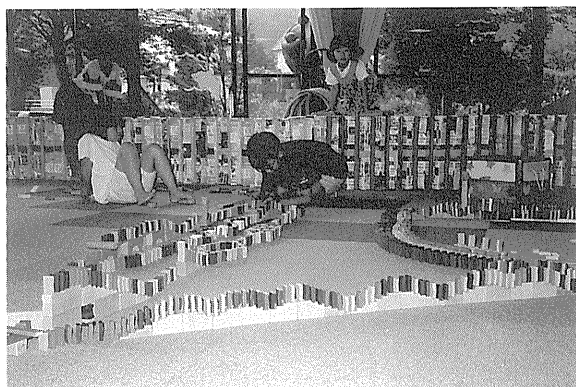
特集

遊びの文化を創造する——ふれあい児童館

ふれあい児童館も、開館以来5年を経過しようとしている。この間、子ども達が豊かで、さまざまな体験ができるよう、子ども達の要望、興味、関心をとらえた遊び・活動を創造するとともに、異年齢児童の交流、子ども達の自主的活動の育成、親子ふれあい体験活動等を実施し、又、放課後児童対策事業をはじめ、さまざまな子育て支援活動を展開してきた。今後は、更に他機関との連携のもと、内容の充実につとめ、児童の健全育成のための役割を担っていくことが期待されている。

ふれあい児童館の利用

ふれあい児童館は、地域の子どもたちの「遊



▲ドミノ遊びを楽しむ児童たち

びの文化」を育むための拠点施設であり、又、子育て支援のための活動の場として、利用されてきた。



▲世代を越えた交流会（於ふれあい童夢）

最近では、異年齢の子どもたちの交流、児童による自主的活動も活発になり、子育てサークル等の利用も増え、館内外の活動も活気にあふれてきている。

今後ともに、創造性豊かな児童を育成するための様々な体験活動、又、子育てのための諸活動がさらに育成助長されるよう、各種関係機関と連携をはかりながら、事業展開されていくことが望まれている。

放課後児童対策事業の併設



▲草もち作りに挑戦するちびっこ楽舎の子どもたち

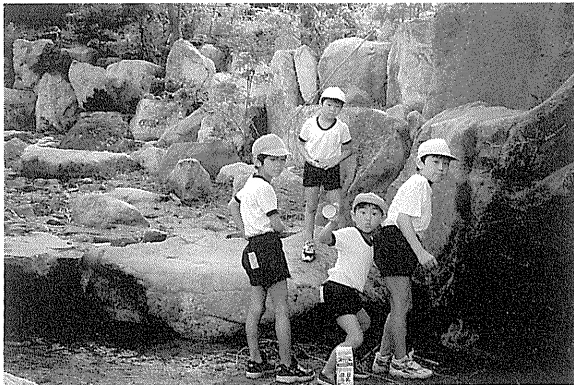
午後3時「ただいま」「おかえりなさい」と挨拶を交わして始まるちびっこ楽舎（放課後児童クラブ）は、現在約30名の児童が登録されて

◇もくじ／社協広報第16号◇

[特集] 遊びの文化を創造する —— ふれあい児童館 [クラブ・教室・講座・サロン紹介].....	2～3
[機能回復訓練] リハビリテーションについて [歳時記まほろば] [ボランティア紹介] かたくりの会	4～5
[報告] 日赤社資収納運動の実施結果／共同募金の実施結果／社協への寄附金等の紹介他	6
[報告] 平成10年度山形村社会福祉協議会会員加入について	7
[寄稿] ぬくもりのある心のふれあい／宮沢督子（上竹田／下本郷連絡班）/[編集後記]	8

いる。午後6時までの間「遊んで、学んで、友だちをつくる」ことができる児童のふれあいサロンである。

子どもたちは山形村の季節の移り変わりの中で、春にはよもぎを摘み草もちを作り、夏には川を探検し、秋には、イナゴやトンボ捕り、そして冬には、雪と氷の世界に浸って元気に遊び学んでいる。



▲児童館周辺も遊びのキャンパス

館内では、一輪車に乗れるようにと練習する子、もっと技をみがこうと励む子、ケンカあり笑いあり、子どもたちのドラマが毎日くりかえされている。

放課後児童クラブは、家庭・学校・地域の枠を越えた一つの場として、子どもたちの心の中に位置づけられてきているようだ。

☆放課後児童対策事業についての問い合わせ
(社会福祉協議会・☎98-3081)

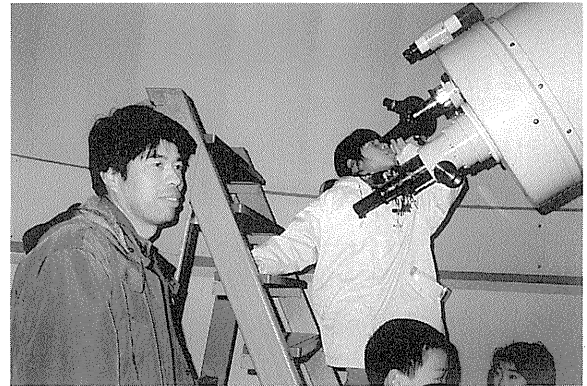
子どもたちのクラブ活動

ふれあい児童館子ども会「レインボークラブ」の募集は、毎年4月～5月に小学生を対象に行っている。子どもたちの継続的な自主活動と仲間づくりの機会として、平成10年度は、〇わん



▲ドッジボールで汗を流す子どもたち

ぱく探検隊 ○リトルサウンド ○子ども手話教室 ○子ども囲碁将棋教室 ○ドッジボール



▲星の観察(於ミラ・フード館)

教室の5つのサークルとトールペイント教室、ちびっこ陶芸教室、ちびっこパン教室、コスモファミリー講座の4つの特別講座、教室を開催した。

大勢の児童が参加し、自主的に活動したり、仲間づくりをしている。

各種児童関連事業との協働



▲親子で交流ラビットサロン

3年目を迎えた乳幼児相談事業「ラビットサロン」は、住民課との共催で月2回(10時～11時30分)ふれあいの館で開催されている。

毎回40組前後の親子が参加する。親子体操や工作遊び、参加者内での話し合いや、保健婦、栄養士の講話、児童厚生員による手遊びや紙芝居など、さまざまなプログラムが用意され、親子のリフレッシュ、子育てネットワークの機会となっている。

☆問い合わせ(役場住民課 ☎98-3111)
(社会福祉協議会☎98-3081)

機能回復訓練

日常生活能力を可能な限り維持回復するために

リハビリテーションという言葉は、語源的には、re（再び）と、habilis（適した、ふさわしい）ation（……にすること）である。何らかの障害を受けたとき、それを再びふさわしい状態に戻すこととされている。

社会福祉協議会は、村との協働事業として利用者の残存機能の維持回復やそれらを活用した生活ができるよう機能回復訓練事業を行っている。

ふれあいの館へ来所して行う通所リハビリ、家庭へ訪問して行う訪問リハビリに、現在2人の理学療法士（丸茂PT、千島PT）が携わっている。又、今年度より音楽療法への取り組みも積極的にを行い、音楽療法研究会の宮下弘子先生より指導を受け、障害や病気を持つ人達の機能低下を少しでも減らし、緩和できることを目的に行っている。

リハビリテーションについて

理学療法士 丸茂 周二

現在、長野県理学療法士会名誉会員、
長野県身体障害者相談員（松本地区担当）



我が国に於いてリハビリテーション（以下リハと略す）の必要性が云々されるようになったのは、昭和30年代に入ってからである。

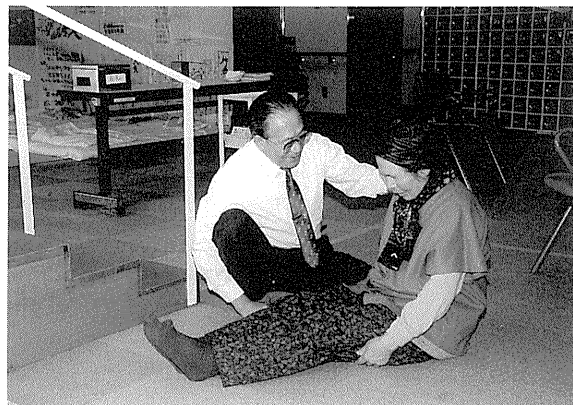
医学には、1. 保健 2. 予防 3. 治療があり、リハは、第4の医学ともいわれ、心身に障害のある人の残された能力を、リハによって十分に取り戻し、一般の健康な人々とのハンディキャップを小さくしてやることで、その根底にあるものは“愛”であると思ふ。



◆みんなで楽しくリハビリ

当初、リハは病院などの医療機関で行うものと考えられてきた。また老人のケアは、病院が

行ってきたが、近年、老人の高齢化が進むにつれ、その見直しが行われるようになった。即ち老人医療は若い人と異い、個々の疾患の治療だけでなく、家庭や地域社会で生活できるよう、老人の残存能力や日常生活能力を可能な限り維持し、回復するようつとめるリハが求められてきた。



◆利用者に応じた個別指導

家庭にあって療養する高齢者にとっては、愛情を持って接してくれる家族の支えが絶対に必要である。その家族の介護を少しでも軽くしてあげる施策が望まれるところである。

在宅福祉、地域福祉の充実を切望するもので、私もリハの担当の一員として山形村にお世話になって10年、此の間、何ほどのことが出来たかなあと、深く反省しているところである。

歳時記／まほろば

独居老人等ふれあい事業／いきいき料理教室の実施



▲地域の仲間とのふれあいを深めて

社会福祉協議会では、独居老人等を対象に料理教室を、本年からは各地区の公民館等で開催することとした。各地区共、食生活改善推進協議会の皆さんや、地域のボランティアさんに指導を受けながら手軽な料理を作った。試食を兼ねた昼食会や、参加者の皆さんと紙芝居鑑賞等で楽しいひとときを過ごした。

いつまでも美しく／デイサービスセンターふれあい

デイサービスセンターふれあいでは、特別メニューとして、ボランティアさんによるお化粧品教室を開催した。化粧品は触覚、嗅覚、視覚の三感を刺激し、気持ちも明るくなることから、心身両面に良い影響を与える。

高齢者や障害者のQOL（生活の質）の向上にもつながることから、今後も取り入れて行きたいと考えている。



▲お化粧品で体と心をリフレッシュ

ボランティアグループ紹介

かたくりの会

◇二見 久江◇

☆ボランティア活動の開始

平成元年度から実施

☆主なボランティア活動

独り暮らしの方へのお弁当作り・配布

「こんにちは、お元気ですか？かたくりの会です」と、2ヶ月に一回ですが、独り暮らしの方に会員が手作りのお弁当を届けています。

ふれあいの館の厨房をお借りして、料理教室さながら、わいわいとにぎやかに、そしてできあがったお弁当の味に一喜一憂しながら楽しくやっています。たまにお年寄りの方から励ましのお手紙をいただき、こちらもふれあうことのできた満足感と、なによりも元気と勇気をいただいています。

今は若い人の力も少しずつ加わり、お弁当作りの他、ピアやまがた、ふれあいの館デイサービスの楽しい行事にも参加しています。

私たちは、これからも、地域に根ざした活動に協力していきたいと思っています。

どうぞ、一緒に自分も楽しみ、相手のしあわせを考えたボランティアをやってみたいと思う方は、声をかけて下さい。

問い合わせ（ボランティアセンター ☎98-3081）



▲息の合ったリズムでお弁当作り

—— あたたかな善意、ありがとうございました。 ——

◇平成10年度日赤社資収納運動の実施結果◇

平成10年度の日赤山形村分区社資収納運動を、去る5月1日から31日までの間実施したところ、次のような実績となった。(収納された社資は、日本赤十字社長野県支部へ全額送金。)

【単位：円】

	上大池	中大池	小 坂	下大池	上竹田	下竹田	合 計
社 費	112,500	149,000	246,000	111,000	288,000	312,000	1,218,500
寄 附 金	59,500	6,000	54,000	18,500	43,800	74,450	256,250
社資総額	172,000	155,000	300,000	129,500	331,800	386,450	1,474,750

◇平成10年度赤い羽根・歳末たすけあい共同募金の実施結果◇

平成10年度の赤い羽根・歳末たすけあい共同募金運動を、昨年10月1日から年末にかけて実施したところ、次のような実績となり、全額を長野県共同募金会へ送金した。この募金は、その一部が平成11年度において、配分金として村社協へ交付され、各種福祉事業に充てられることとなっている。

【単位：円】

上大池	中大池	小 坂	下大池	上竹田	下竹田	職域他	募金総額
231,300	170,500	377,500	149,300	425,302	477,000	29,245	1,860,147

◇社協への寄附金等の紹介◇ 【平成10年4月以降／敬称略】

○はげみ塾々生一同	金 33,907円	○西牧教室	金 20,000円
○唐沢美代子(小 坂)	金 30,000円	○リトルコレクションクラブ夢工房	金 15,000円
○山形村ゴルフ連盟	金 44,446円	○農業法人(尙)竹田の里	金 30,000円
○山形村商工会婦人部	金 20,000円	○社協職員ボランティアLOVE & PEACE	金 20,000円
○親和会(親和住宅(尙)工事人会)	金 12,360円	○上條美知子(中大池)	金 50,000円
○旗町巳佐喜(下大池)	金100,000円	○サラダ街道山形新鮮野菜市組合	金 10,000円
○古川寺観音様奉賛会	金 50,000円	○元山形村絵画クラブ員一同	金 33,696円
○日本禁煙友愛会山形支部	車椅子2台	○しんさん信嶺会(松本信用金庫波田支店) 善意のタオル400本	
○大池敏子(下大池)／○寺澤希八(中大池) 紙おむつ		○匿名希望者(2人) 干支飾りハンカチ	

◇平成10年度東筑社会福祉大会及び山形村健康と福祉のつどい／被表彰者の紹介◇

■東筑社会福祉大会(平成10.10.30/於松本合同庁舎講堂)／東筑摩郡社協会長表彰／[村内関係から]	
○民生・児童委員功労者／山口 洵さん(小 坂)	
○老人介護善行者／上條 要さん(上大池) 上條美藤さん(上大池) 百瀬瑞恵さん(中大池) 鈴木康子さん(小 坂) 金藏由江さん(下竹田)	
■健康と福祉のつどい(平成10.12.5/於トレセンふるさと大ホール)／山形村社協会長表彰	
○福祉活動功労者／山口 洵さん(小 坂) 唐沢紀子さん(下竹田) 本庄京子さん(上大池)	
○福祉事業協力者／日本禁煙友愛会山形支部	

ご協力ありがとうございました!!

平成10年度山形村社会福祉協議会会員加入につきましては、次のように大勢の皆様からご協力をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、地域福祉の活動に有効に使わせていただきます。

◎普通会員（単位：円）

連絡班名	普通会員数	金額	連絡班名	普通会員数	金額	連絡班名	普通会員数	金額	連絡班名	普通会員数	金額
豆沢南	17	25,500	堂村下	10	15,000	唐沢下	25	37,500	上手村	27	40,500
豆沢北	18	27,000	寺林	14	21,000	四ツ谷上	37	55,500	西下	17	25,500
青木沢南	19	28,500	小坂東			四ツ谷下	37	55,500	北村	18	27,000
青木沢中	7	10,500	清水	11	16,500	原村上	21	31,500	南中	30	45,000
青木沢北	24	36,000	本殿上	19	28,500	原村東	17	25,500	北中	21	31,500
中耕地西	17	25,500	本殿下	15	22,500	宮村	27	40,500	南堀	30	45,000
中耕地東	20	30,000	東殿	16	24,000	殿村	28	42,000	北堀	19	28,500
久保	17	25,500	上北沖	18	27,000	中耕地	31	46,500	竹原	32	48,000
堤南	29	43,500	中北沖	26	39,000	上竹田中村	34	51,000	原町	28	42,000
堤北	23	34,500	下北沖	49	73,500	御判形	37	55,500	北竹原	11	16,500
淀の内	46	69,000	上中原	21	31,500	下本郷	47	70,500	竹田原	32	48,000
上手西	19	28,500	中原町	36	54,000	新和	23	34,500	三夜塚	35	52,500
上手東	16	24,000	新町	22	33,000	四ツ谷西	22	33,000	南竹原	23	34,500
野際	37	55,500	小坂台	26	39,000	青葉台	9	13,500	新星	14	21,000
中大池中村	39	58,500	下中原	8	12,000	本郷東	12	18,000	若葉	12	18,000
中大池下村	29	43,500	仲町	17	25,500	西原	3	4,500	野尻東	14	21,000
下村東	31	46,500	橋爪西	14	21,000	四ツ谷中	4	6,000	野尻西	23	34,500
山口	24	36,000	橋爪東	37	55,500	美の里ヶ丘	21	31,500	清水高原	2	3,000
大日	17	25,500	下大池下村	19	28,500	唐沢上	19	28,500			
日向	30	45,000	中央通	41	61,500	神明	37	55,500			
堂村上	18	27,000	城ヶ沢	21	31,500	荒川	25	37,500	合計	1,841	2,761,500

◎賛助会員（1口 3,000円 平成11年3月8日現在）

賛助会員数	82人	加入口数	96口	賛助会費合計	288,000円
-------	-----	------	-----	--------	----------

◎特別会員（1口 10,000円）

10口 (株)ヤマジン

5口 J A松本ハイランド山形支所、(株)オーイケ、平沢土建(株)、(株)小林創建、キヨミズ開発(有)、ワタキューセイモア(株)長野営業所

3口 きよみず交通(株)、山形村商工会、(有)タカヤマ住設、サンリン(株)

2口 森井自動車(株)、(有)横水石材店、(株)川上建設、簗町商店

1口 日吉屋商店、(株)シナノ電子技研、(有)波田通信機山形工場、(有)丸八種苗園
 佐和工業、(有)親和住宅、山形診療所、そば処かみじょう、(有)アオヤギ精器
 (有)佐野商会、(株)丸森、(株)丸五山形食品、(有)サエキ美装、(有)ツカサ設備
 (有)島村板金、(株)新井商店山形工場、(有)花岡電子、(株)美野里、(株)まつみん
 (有)山辺鉄工所、富士コーポレーション(株)、松本土建(株)、総合機工(株)
 上野輸送(株)信州営業所、天理教信濃山形分教会、横山医院、小林自動車
 西濃運輸(株)松本支店、信州ジャスコ(株)サラダ街道ショッピングセンター
 セブンイレブン信州山形店

合計 45社 900,000円

宮沢 督子（上竹田／下本郷連絡班）



私が育った時代は、地域社会とのつながりが強く、例えばよそ様の家へお風呂をもらいに行く、テレビのある家へは見せて頂きに行く、ということなど日常茶飯事で、家族同様なつき合いが随分あったように思います。今の世の中では信じられないようなつながりの中で育ってきました。

現在は、生活が豊かになった分、人の心が貧しくなってしまったと言われるように、他人との関わりを煩わしく思い、見て見ぬふりが賢い生き方だと考えている人が多くなったように感じられます。

しかしその反面、各家庭での親子関係が緊密になり、私もそんな世の中の一人の人間として反省し、「いけない」と思ったことは注意をしたり、困っている人がいたら自分から手を差し伸べるのできる人間でありたいと、いつも心がけています。また、わが子にもそんな大人に育ってほしいと願っています。当たり前といえばそれまでかもしれませんが、その当たり前のことが必ずしもできるとは限らないように思います。ちょっとした気の働かせ方ひとつで、人と人の間にぬくもりが伝わるのではないかと思います。

「働くとは生きるうえで欠かせない活動の一つ。働くことで社会とつながっていく」——これは、以前ある講演会を受講した折の、今も記憶に残っている言葉です。その社会との大切な「つながり」として、ふれあいの館のホリデーサービスの昼食作りに携わらせていただき、1年程になります。

デイサービスの楽しみの一つでもある、お昼のひととき、どんなものが喜んで頂けるだろうかと考えながら、やわらかく、食べやすく、見た目もきれいに、楽しんでもらえるよう心がけています。

でも出来上がりが思うようにならなくて心苦しい時もありますが、かくし味の愛情は、いっぱい入れようと努力しています。

核家族のわが家での「味の評価」は、もっぱら息子や、夫に頼っていますが、利用されている方の意見を聞かせて頂けたら有難いです。お料理を通しての間接的なつながりではありますが、このお弁当づくりによって、デイサービスふれあいを利用されている方々ともっともっとふれあうことができたらいいなあと思っています。

◇ 編集後記 ◇

みなさんは、リハビリテーションについてどのようなイメージをもたれますか。特別な技術や難しいものと考えられがちですが、在宅での普通の生活動作ができるよう訓練するものです。

現在ふれあいの館では、リハビリの機能訓練に合わせて遊びの要素を含んだりリハビリ（遊びリハビリテーション）も行っています。ふだん痛くて手足を動かさない人もためらうことなく積極的に参加し楽しまれています。人間は遊びを覚えていく過程の中で、反射や基本的な動作、あるいは判断力、社会性などといった種々の機能や能力が構築され、生活に即した行動へとつながっていきます。このように一連の基本的動作から日常生活動作へと移行していくのです。

動く意欲を起こして長続きさせるためには、「心のリハビリ」が不可欠です。そのためにもより明るく共に楽しみながら、笑顔と元気を取り戻してほしいものです。楽しい気分は、人間同士を結びつける効果をもっています。

編集人／社協-T.

まほろば

（社協広報／第16号） 平成11年3月31日発行

●発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会（ふれあいの館内）

〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村3940番地の1 ☎0263(98)3081 FAX0263(98)3016

●印刷所 日本ハイコム株式会社